



すべてのプレイヤー・引率者・保護者・観客に贈る

スーパードッジボール5つの心得

みんなで《より良いドッジボール大会》をつくりましょう！

この心得は、子ども達が一層スーパードッジボールを楽しむために、プレイヤー、引率者、保護者、観客が一体となって環境を整えるルールです。それぞれの立場から、魅力あるスーパードッジボールの環境づくりへのご協力をお願いします。

プレイヤー

引率者

ドッジボール大会

保護者

観客

プレイヤーのための5つの心得

- 1 いつも全力を尽くそう
あなた自身のため、そしてチームのために、いつも全力でプレイしよう。
- 2 ルールや判定にしたがおう
まずルールを正しく覚え、審判の判定にしたがってプレイしよう。
- 3 試合に関係する全ての人に感謝をしよう
相手チーム、審判、家族に感謝の気持ちを持ちましょう。これらの人なくして試合はできません。
- 4 よいマナーを心がけよう
当たり前のことを自然に行えるようになろう。
例えば、会場で自分のゴミを持ち帰るのも一つです。
- 5 学習活動も一生懸命やろう
あなたはまだ小学生です。学習もスポーツと同じくらい一生懸命やろう。

引率者のための5つの心得

- 1 審判の判定を尊重しましょう
わざと間違える審判は絶対にいません。判定へ不満が出た時はフェアプレー精神の大切さを伝えるチャンスです。自身の姿をもって子ども達に教えてあげてください。
- 2 体罰、言葉の暴力は厳禁です
体罰・暴言を根絶しましょう。引率者同士で注意し合える関係づくりに努めましょう。
- 3 子どもの将来を考えた指導を心がけましょう
小学生の時期は、頭も体もおおいに成長します。技術に加え、適切な判断力や行動力、マナーを指導しましょう。
- 4 選手をたくさん褒めましょう
プレイヤーは緊張の中でプレイしています。結果ばかりに注目するのではなく、何かにトライしたことを褒めてあげましょう。
- 5 大切なのは対戦相手です
対戦するのは「敵」ではなく「相手」です。それは応援の方も同じです。勝っても負けても正々堂々と試合に臨んだ相手チームに「ありがとう」の気持ちを持ちましょう。

保護者のための5つの心得

- 1 よいマナーのお手本を示しましょう
保護者のみなさんの日頃のふるまいや応援中の言動が子どもたちのマナーや礼儀に影響します。進んでよいお手本を示しましょう。
- 2 子どもたちを励ましてあげましょう
お子さんが自分の興味を膨らませ、ワクワクしながらドッジボールに参加できるように、たくさん励ましてあげましょう。
- 3 努力の大切さを教えてあげましょう
努力を続けることが、将来的な子どもたちの成長につながります。目先の勝利にこだわることは成功の近道ではないことを教えてあげましょう。
- 4 批判は禁物、思いやりが大切です
お子さんやその仲間達、指導者への批判は、お子さんの成長をさまたげます。思いやりの心をもって、努力や挑戦を認めてあげましょう。
- 5 周囲を敬い、助け合いましょう
チームは子どもを預けるところではなく、ともに子ども達を育てるところです。引率者や保護者の方々と協力し合いましょう。

観客のための5つの心得

- 1 ドッジボールを存分に楽しみましょう
スポーツは楽しむためのものです。周囲の方々と一緒になって会場を盛り上げましょう。
- 2 子どもたちのがんばりを応援しましょう
子ども達が諦めそうになったり、くじけそうになったりした時こそ応援しましょう。プレイヤーはたくさんの応援で輝きます。
- 3 全てのプレイヤーのよいプレイに拍手を
自チーム相手チーム関係なく、プレイヤーのがんばりには惜しみない拍手をおくりましょう。会場の拍手がプレイヤーのエネルギーになります。
- 4 会場のマナーを守りましょう
試合会場は他の団体を含めたくさんの方が使用します。持ち物やゴミの管理に気をつけましょう。応援の皆さんもドッジボールの関係者の一人です。
- 5 家族やお友達をたくさん誘いましょう
ドッジボールが盛り上がるように、たくさんの人を誘ってください。一人一人の声掛けが大きな繋がりを生みます。